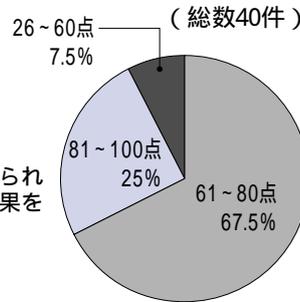


エコチェック結果の 集計結果を お知らせします

平均 75.8点
最高 100点
最低 42点

寄せられたご意見に添えられた読者のエコチェック結果をまとめました



地域で活動している団体を対象に講演会や勉強会を開催し、意識を喚起してはどうでしょうか。
(東区・60歳代男性)
車の量を減らすことが最優先だと思えます。一家庭で何台も車を持ってないようにするなどの具体的な対策が急務だと考えます。
(豊平区・60歳代女性)

特集を読んで考えました、いろいろなこと

地球温暖化をはじめ環境保全に関する意識はあると思っていたのに、エコチェックは四十四点で、私としては落第点。電気、水道に関する項目が弱く、あと一歩の行動が必要だと再認識しました。
(西区・50歳代女性)

エコチェック結果は七十六点。しかし半年前の生活では四十二点しか取れていませんでした。これは、公共料金を安く抑えようという努力した結果で、今後も点数を上げるため頑張りたいです。
(白石区・30歳代女性)

節約が好きで、実践してきたつもりでしたが、今回のエコチェックをやってみて、使い捨て商品が好きだという矛盾があることに気が付きました。子供のためにも、いま一度環境を考えて生活したいと思っています。
(豊平区・20歳代女性)

環境のことを考えてというわけではなく、光熱費節約の観点から暖房や給湯に注意しています。電気代や水道代などをどれくらい使っているか、一目で分かるメーターが家の

中になれば、みんな絶対に節約すると思います。

(北区・20歳代女性)

大人が関心を持って行動するのはもちろんですが、子供たちにも、自然と環境に配慮した行動をとれるようになってもらいたいです。そのために、親子で話し合いながら、日常の生活の中で実践でき

ばと思っています。

(手稲区・30歳代女性)

家計を節約するという、経済的な観点のみで取り組むのではなく、もっと環境や地球子供の未来についてしっかり考えて、一人ひとり実践していかなければいけないと痛感しました。

(東区・20歳代女性)

たくさんのご意見ありがとうございます

3月号で特集した「環境保全を考える～地球温暖化防止は家庭から」に、多くの方から声を寄せていただき、深く感謝しています。今回ご紹介した声はほんの一部です。あらためて、市民の皆さんの環境に対する関心の高さを感じました。

先日、環境省で、新たな「地球温暖化対策推進大綱」を設けました。これには、100を超える具体的な対策・施策がとりまとめられており、地球温暖化防止のための取り組みを、さらに強く進めていこうとするものです。

札幌市でも、昨年5月に策定した「札幌市温暖化対策推進計画」に基づく取り組みに引き続き力を入れていきますが、その成果は市民の皆さん一人ひとりの意識と行動にかかっています。快適な地球環境を守り、しっかりと次の世代に引き継いでいくためには自分から。そんな気持ちで一緒に取り組んでいきましょう。



札幌市長 北のぶ 信雄